

報道関係各位

平成 30 年 3 月 7 日

住友不動産株式会社

住友不動産新宿ガーデンタワー・ベルサール高田馬場にて テナント企業、地域住民と「地域合同防災訓練」実施 ＜新宿消防署・新宿警察署・新宿区と連携＞

住友不動産株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長：仁島浩順）は、昨年 3 月に引き続き「住友不動産新宿ガーデンタワー」において、新宿消防署・新宿警察署・新宿区と連携し、テナント企業の皆様と地域住民の方々のご参加のもと、地域の防災性向上を目的とした様々な防災訓練を実施いたしましたのでお知らせいたします。

首都直下型地震発生が危惧される中、東日本大震災より 7 年となるにあたり、震度 6 強の直下型地震とそれに伴う火災発生を想定した避難訓練及び、帰宅困難者一時滞在施設にもなる「ベルサール高田馬場（イベントホール）」にて、起震車、まちかど防災訓練車、水消火器、AED・応急救護体験に加え、備蓄品の紹介などを行いました。

今回の「地域合同防災訓練」を継続することで、就業者や地域住民の方々と防災意識を共有し、災害発生時の避難場所としてもご認識いただくことで、地域の安全安心と災害に強い街づくりに寄与できればと考えています。



＜会場：住友不動産新宿ガーデンタワー＞



＜テナント企業の避難訓練＞

■「地域合同防災訓練」概要 / 平成 30 年 3 月 6 日(火)実施

【会 場】住友不動産新宿ガーデンタワー（東京都新宿区大久保 3-8-2）

【参 加 者】約 500 名

住友不動産株式会社、新宿消防署、新宿警察署、
テナント企業の皆様、地域住民の方々

【訓練内容】

- 10：00 地震初動対応訓練 被害状況の確認
- 10：10 23 階 EV ロビーにて火災発生 ⇒ 避難開始
テナント社員が避難階段にて「ベルサール高田馬場（イベントホール）」へ避難
- 10：30 新宿消防署から講評
- 10：45 入居テナント様および、近隣地域の皆様合同の体験訓練
起震車、まちかど訓練車、水消火器、AED・応急救護、備蓄品等の紹介



<新宿消防署 糸魚川自衛消防担当係長のご講評>



<まちかど防災訓練車での放水体験>



<起震車>



<防災備蓄品等の紹介>

■住友不動産新宿ガーデンタワー 事業の歩み

- ・2004年 土地取得
- ・2010年 都市計画決定(大久保三丁目西地区計画)：地域の整備方針
平常時の防災活動や災害時の帰宅困難者の一時休憩所の確保及び周辺住民の避難空間の拡充を図るためまとまった規模を有する広場を整備する。
- ・2011年2月 制振構造設計にて着工
3月 東日本大震災を受け、設計変更の為に工事中止
- ・2013年 免震構造設計にて再着工
- ・2015年2月 「新宿スカイフォレストレジデンス」 竣工(分譲棟)
- ・2016年3月 「新宿ガーデンタワー」 竣工(賃貸棟)
- ・2017年3月 「防火防フェア」 開催

本件に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

住友不動産株式会社 広報部 TEL:03-3346-1042 担当:内藤